



岡島政信 議員

Masanobu Okajima

Q&A

一般質問

Q. 品評会を開催しては A. 現時点では考えていない

Q 第4次総合計画における農業振興についての評価は。

A 産業建設部長
急激な農地の減少

や後継者不足など多くの農家の抱える課題の多から、農業振興の難しさを感じている。

先行き不透明であるが、住宅の需要やその他の開発はしばらく続くと思予想する。

農業振興については、今後さらに難しさが増すものと考えている。農業委員会や農家の皆さんのご意見を伺いながら、農業振興につながる方策を探ってきたい。

Q 神明地区内の町民農園事業の目的は。

A 産業建設部長
町民農園は農家以外の方が、野菜や花などを栽培し、農業に対する理解を深めることや自然

や人とのふれあいを通して、地域の活性化に寄与することを目的とする。

当初予算では1区画あたり15㎡、計24区画の整備を予定している。

Q 町民農園の待機希望者は、現在何名みえるのか。

A 産業建設部長
平成30年5月末現在、町民農園の利用をお待ちの方は18名である。

Q 神明地区に町民農園が開園され、農に触れ合いを求める方が増える。そこで提案ですが、町民農園で栽培されている方も含め、野菜を持ち込んで町民に見てもらつた会(品評会など)を開催してはどうか。

A 産業建設部長
町民農園は栽培を体験してもらつただけでなく、耕作する喜びや生きがいづくりに繋がれば

辛いと考える。

現時点では、町民に見てもらつた会(品評会)の開催は考えていない。

しかし、利用の活性化、利便性向上などの方策については、検討の余地があり、町民農園の設置を進めながら総合的に検討してきたい。



▲神明地区の町民農園予定地